

## Catch : キャッチ (非営利連合)

話し : Eve Layman

レポート : 豊川倫代

### ★概要

本連合はオカナガン地区における様々な子育て支援団体や保育施設間、また、それらの団体・施設と子育て世帯間の橋渡しの役割を果たしており、地域のネットワークづくりに尽力している。オカナガン地方・BC州で求められている子育ての環境、そしてそのネットワークと等についてお話を伺った。

### ★はじめに

Eve Layman さんは 2005 年に入社。子育ての親たちの考えを身近に感じ、共有していく中で、ボランティアで始める。子育てについて話し合いの提供の場を持ち、親同士の情報を収集していく。

内容として、子を持つ親が自信を持って、子育てができるよう話し合いの場の提供や

地道な活動を通じて援助していく。子どもの健康にとって、どんなアクションをおこしていくかを考えていく。それぞれの場所で、いろんな世代がつながっていくコミュニティを作る。

以前は、チルドレンファーストと呼ばれており、それぞれがそれぞれのやり方でカラーも全く違った。独立してコミュニケーションがとれなかったり、つながりが薄かった為、全体像を把握していこう、つながりを強化していこうと動き出す。

Catch 自身がコミュニティをつなげるため補助金を申請していたが、バランスや関係性を健全にするため、BC州が、補助金を申請して BC州が出し使っていく。



Catch と関わる全ての人々が、連合で全員で話し合った結果、

### ★話し合いの場を提供する

フォーラム・ワークショップの他にリサーチを行う。

1. オカナガン地域の子育ての環境はどうか。
2. なかなかコンタクトが取りづらかった団体と何故取れなかったのか。プログラムを行う上で、人に合わせたり、連携を進めていくには、何が必要か。出来ない場合は、なぜできないのか、一つずつ考えていく。有し、また改良の結果でどうなったかを話し合う。
3. 考えを多方面から循環させ、子どもたちの為に自らの声を届けようと、下がすいあげて必要なことをやっていく。上がやってほしいことをやっていくかで大きな違いを生み出す。両方の融合のベースでできれば最高である。

### ★感想

子育てに優しいコミュニティとして、BC州が全体像を把握している。

コミュニティ全体が考えを循環させていき横のつながりを取り、パイプを太くしている。

日本は決めごとがあっても、その後どうなっているのか市民に浸透しづらい。

アクションや改善が難しい。国全体としての動きや働きかけが感じられたり、子育ての親同士根の強いネットワークが支えていると思う。日本でも、親だけでなく子どもに関わるコミュニティの輪が広がればよいと思う。

ひとり一人の子どもを国全体がサポートして大切に育てていこうとしている気持ちが伝わり、身近でお話を聞けて日本での子育てにも何か参考にできることがあるような気がした。

